（様式：中学校用）

令和４年度　学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第六中学校　校長　　鵜飼　康成

１　学校教育目標

①自ら学び目標をもって努力しよう
②互いに尊重し助け合おう
③困難に耐え心と体を鍛えよう

２　学校図書館の目標・ねらい　ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

①学校図書館を利用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
②学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
③学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
④読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

３　学校図書館の現状（令和３年度末）

蔵書状況

①　蔵書数　13647 冊(蔵書基準冊数　9600 冊)／蔵書率　142.1%(令和２年度末　146.3%)
②　新規購入図書　419 冊　／　廃棄図書　0 冊　／増減冊数　419 冊

分類	総記０類	哲学１類	歴史２類	社会３類	自然４類	技術５類	産業６類	芸術７類	言語８類	文学９類
蔵書構成割合	2.7%	2.6%	10.4%	9.1%	9.8%	4.3%	2.1%	10.2%	5.2%	43.6%
＊国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%

利活用の状況

①　開館時間：授業時、昼休みから 16 時 30 分
②　生徒一人あたりの年間平均貸出冊数　4.67 冊（前々年度末：3.95 冊）
③　学校図書館利用率　507 %（前々年度末：394 %）

（令和４年度末）

蔵書状況

①　蔵書数　14,086 冊（蔵書基準冊数　9,600 冊）／ 蔵書率　146.7 %
②　新規購入図書　439 冊　／　廃棄図書　0 冊　／増減冊数　439 冊

分類	総記０類	哲学１類	歴史２類	社会３類	自然４類	技術５類	産業６類	芸術７類	言語８類	文学９類
蔵書構成割合	2.7%	2.6%	10.4%	8.9%	9.8%	4.4%	2.2%	10%	5.4%	43.3%
＊国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%

利活用の状況

①　開館時間：授業時、昼休みから 17 時 20 分　（前年度からの変更　あり・なし）
②　生徒一人あたりの年間平均貸出冊数　6.96 冊（前年度末：4.67 冊）
③　学校図書館利用率　605%（前年度末：507%）

４　目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第１学年

①学校図書館の基本的な利用の仕方、図書の扱い方等を身につける。
②学校図書館を利用して、課題に対する調べ方などの情報活用能力を育成する。

今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館のきまりや仕組みを理解することができる。 ②魚沼自然教室の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。 ③校外学習の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。	①学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100% ②魚沼自然教室の事前学習において、課題の提出率 100% ③校外学習の事前学習において、課題の提出率 100%

目標達成状況

①新入生の全クラスで学校図書館オリエンテーションを実施し、受講率 100%を達成した。
②③魚沼自然教室・校外学習に関する学習を通して、学校図書館を活用した探求方法や表現方法を身につけることができた。

第２学年	①読書の幅を広げ、多くの分類にわたる読み物を読もうとする意欲を育てる。 ②調べ学習等で、学校図書や新聞等を適切に活用して知識を深めることができる。

今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書を活用して読書をすることができる。 ②魚沼自然教室の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。 ③職場体験の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。 ④校外学習の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。	①年間の貸し出し平均冊数前年比 10%増 ②魚沼自然教室の事前学習において、課題の提出率 100% ③職場体験の事前学習において、課題の提出率 100% ④校外学習の事前学習において、課題の提出率 100%

目標達成状況

①学年一人あたりの年間の貸し出し平均冊数は 5.44 冊で、前年比 5%増であった。
②③④魚沼自然教室・職場体験・校外学習に関する学習を通して、学校図書館を活用した探求方法や表現方法を身につけることができた。

第３学年	①読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ②学校図書や新聞、ＩＣＴ機器等を活用した探究活動を通して、適正な情報選択能力や表現力の育成を図る。

今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書を活用して読書をすることができる。 ②修学旅行の事前学習で、図書館資料を活用して情報を収集し、学習を計画的に進めることができる。	①年間の貸し出し平均冊数前年比 10%増 ②修学旅行の事前学習において、課題の提出率 100%

目標達成状況

①学年一人あたりの年間の貸し出し平均冊数は 4.23 冊で、前年比 50%増であった。
②③修学旅行に関する学習を通して、学校図書館を活用した探求方法や表現方法を身につけることができた。

５　学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ①既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を１２月に完了させる。 ②蔵書構成を念頭に新規図書購入計画を立て、選書を行う。 ③全蔵書について「３桁分類」への転換作業を行う。	①新規購入図書や寄贈本の登録作業は１２月に完了した。 ②蔵書構成を念頭に置いた新規購入計画をもとに選書を行った。 ③蔵書の９割程度について「３桁分類」への転換作業を完了した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ①学校図書館オリエンテーションや図書委員会の活動の支援等を、支援員と積極的に連携・協働して行う。 ②調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③キャリア教育や宿泊行事・校外学習等、時期に応じた連携や協働に計画的に取り組む。 ④学校図書館だよりの発行や図書の展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努める。	①図書委員会でポップコンテストやブックツリーなど読書推進活動を協働して行い、校内に利用を促した。 ②４・５月ごろに教員と支援員で連携し、学校図書館オリエンテーションを行った。 ③修学旅行等の事前学習で学校図書館資料を活用することができた。 ④図書委員が、教員のおすすめ本を紹介する記事を作って図書室だよりに載せるなど、生徒の興味を広げる活動を行うことができた。

【その他】 ①年度末の貸し出し返却率が 100%となるように積極的に声掛けをするなどの取り組みを行う。	①教員と支援員で積極的に声掛けをした結果、年度末の返却率は 97%であった。

６　学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

図書担当教諭と学校図書館支援員が協力し、図書委員会を中心にして読書活動の推進に取り組んだ、今年新たに設けた読書Ｗｅｅｋでのイベント、ブックツリーの作成や図書委員の生徒が「図書室だより」の一部の記事を担当するなど全校への働きかけを積極的に行うことができた。その成果として、貸出冊数も利用人数も昨年より増え、学校図書館の利用率が向上した。

今後は、学校図書館の利用が少ない生徒にも読書に対して興味を持ってもらうためにさらなる読書活動の推進の方策を検討し、読書に親しむ機会を増やしていく。加えて、学校図書館資料の整理や更新及び図書館内の展示や掲示の充実を図り、生徒がより利用しやすい学校図書館環境を整備する。

７　学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

特になし。